

伊勢湾貧酸素情報（第 3 報）

三重県水産研究所 鈴鹿水産研究室

伊勢湾の底層では海水中の溶存酸素濃度が低下しており、湾中央部を中心に 2 mg/L 以下の貧酸素水塊が確認されました。

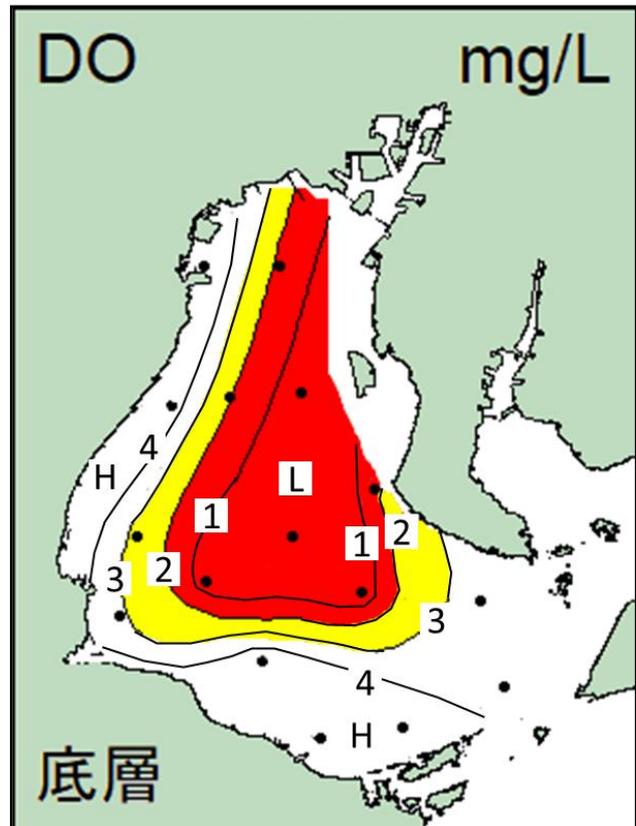
9 月 3 日の調査結果

9 月 3 日の漁業調査船「あさま」の浅海定線観測によると、水温は表層で 26.9～29.2℃、10m で 27.1～28.1℃、底層で 21.9～28.1℃ の範囲にあり、表層は平年より高め、10m 及び底層は平年よりかなり高めとなっていました。

DO（溶存酸素濃度）は表層で 5.2～9.2 mg/L、10m で 4.9～7.3 mg/L、底層で 0.1～4.8 mg/L の範囲にあり、表層、10m 及び底層ともに平年並み～高めとなっていました。

前回（7 月 3 日）、沿岸域（白子沖）で確認されていた貧酸素水塊は解消していましたが、湾中央部を中心に広い範囲で貧酸素水塊が確認されています。

引き続き、操業にあたっては、貧酸素水塊の動向に十分に注意してください。



底層貧酸素水塊分布図